

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

318号

2017年8月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

韓米関係においても積弊清算を 韓米合同軍事演習の中止に文政権の主導的な役割を期待する！

歴史的なキャンドル革命で誕生した文在寅(ムンジェイン)大統領が、初の外遊先として米国を訪問し、6月29日～30日にかけてトランプ大統領と会談した。会談では政治・軍事・経済など全般的な分野について話し合われた。首脳会談後の共同声明では▲さらなる同盟の前進、▲平和的な非核化の確認、▲北朝鮮に対する既存の制裁の完全な履行、▲北朝鮮との対話の可能性 ▲南北対話に対する米国の支持表明など10項目が発表された。

文大統領は大統領選挙期間中から一貫して主張してきた「朝鮮半島問題を平和的に対話で解決する」ことを強調し、トランプ大統領の同意を引き出したことは今回の会談の大きな成果と言える。しかし、その一方で合意内容の全般的な基調が「強力な韓米同盟の現住所の確認とさらなる強化」にあり、10年間続いた親米保守政権と変わり映えしない内容には残念と感じざるをえない。

朝鮮半島の自主的平和統一の当事者は、南北であることは誰も否定できない事実だ。しかし、朝鮮半島の平和を担保とする基礎は、去る7月27日に64周年を迎えた朝鮮戦争の停戦協定を平和協定に転換することにある。そして、この当事者は停戦協定の調印当事国であり、現在もなお軍事的対立を深めている朝米両国である。朝米間において平和協定を締結し、関係正常化を築かない限り、朝鮮半島の平和は実現されえない理由はまさにここにある。

オバマ前政権の対北政策「戦略的忍耐」の失敗

から決別を表明したトランプ政権は、対北政策として「最大の圧力と関与」を掲げている。しかし、その実態は中国に対して対北制裁を強化するように圧力をかけることでしかない。しかもその中国は、ロシアとの首脳会談で「米国に北朝鮮の懸念には正当性があり、尊重すべきだ」と共同声明で明らかにし「北朝鮮の核開発と韓米合同軍事演習の同時凍結」の実現を目指すことで合意、トランプ政権とは一線を画した。

トランプ政権の対北政策は完全に行き詰っているのだ。そこに文政権は引き



▲ワシントンで開かれた韓米首脳会談

ずられてはならないし、ましてや政権引き継ぎ機関がない影響で全閣僚が確定しない中、駐韓大使もまだ指名できていない不安定なトランプ政権と、急いで訪米して会談する必要まであったのか疑問が残る。

文大統領は去る6月15日、金大中平和センターが主催した「6・15南北首脳会談17周年記念学術会議と記念式」の祝辞に立ち、「金大中大統領が米国のクリントン政権を説得し、南北関係が発展できる土台を主導的に敷いたことを教訓にしなければならない」と語った。

今こそ文大統領はトランプ政権を説得して、韓米合同軍事演習の中止を実現し、朝鮮半島の非核化の道筋を形成すべきだ。出帆以降「積弊清算」に果敢に取り組んでいる文大統領に、韓米関係においても「軍事的隷属」という最大の積弊の清算に取り組み、米国の対北政策を転換させることで朝米対話の環境を造成するために果敢に行動することを期待したい。それがキャンドル革命で表出した民心だ。(銖)

朝鮮半島の平和と統一は、 東アジアの平和につながる 日韓交流事業2017

朝鮮戦争停戦協定締結から今年64年を迎え、日韓平和連帯の主催で「日韓交流事業2017 朝鮮戦争停戦協定締結から64年 停戦協定を平和協定にかえよう！東アジアの平和に向けて」が7月27日（木）、エルおおさか（大阪市中央区）で開かれ、在日同胞、日本の労働者・市民が参加した。



▲平和協定をテーマに講演する崔恩雅さん

集会では、日韓平和連帯共同代表の山元一英さんが主催者挨拶を行った後、韓国の6・15南側委員会事務局長であり、韓国進歩連帯自主統一委員長の崔恩雅（チェ・ウナ）さんが講演を行った。

崔さんは講演で「朝米対話の歴史の中で、2000年に発表された朝米共同コミュニケで初めて平和協定について明文化されたが、その後、ブッシュ政権、オバマ政権による対北強行政策によって平和協定は実現されていない」と指摘した。

崔さんは次に「現在、戦争の危機が高まっている朝米関係は、北朝鮮のミサイル・核開発の凍結と韓米合同軍事演習の中止を同時進行させ、対話を通じて解決しなければならない」と述べるとともに、「平和協定が締結されれば▲朝鮮半島での戦争の危機が解消され、日本が軍事大国化へ進む名分なくなる。▲韓国の国家主権が実現する。▲大幅に軍事費が縮小され、その分、社会・福祉に資金を回すことができる」とし、最後に「民衆の力で平和協定締結、東アジアの平和を実現させよう」と訴えた。

講演後は、山元一英共同代表から「8・15コリア世界フォーラム」訪韓の取り組みの報告、8

月14日から16日まで訪韓する代表団が一人一人紹介され、最後に日韓平和連帯顧問である永久睦さんが閉会挨拶を行い、集会は終了した。

呂運亨先生の意志を受け継ぎ、 一日も早く祖国統一を実現しよう 夢陽呂運亨先生逝去70回忌追悼会

南北合作運動で著名な呂運亨（ヨ・ウニョン）先生の逝去70周年を迎えて「夢陽呂運亨先生逝去70回忌追悼集会（主催：同実行委員会）」が7月22日（土）、東成区民センター（大阪市東成区）で開催された。

第1部の追悼式では、実行委員会を代表して李慈勲（イ・ジヤフン）実行委員長が追悼辞を行い「偉大な民族主義者、自主統一国家建設者であった呂運亨先生の意志を継承し、一日も早く自主的で平和的で民族大団結に基づいた祖国統一を実現することを誓う」との決意が語られた。続いて孫亨根（ソン・ヒョンゴン）韓統連中央本部議長と姜兌桓（カン・テハン）平和統一協会副会長から記念辞が述べられ、最後に韓国から駆けつけられたご遺族の呂寅誠（ヨ・イン）氏が挨拶された。



▲講演する鄭祐宗さん

第2部では、大谷大学講師で朝鮮近現代史研究者の鄭祐宗（チョン・ウジヨン）氏が「夢陽呂運亨と人民共和国の建設—男女平等権、経済的民主主義、人民主権、そして国際協定」と題して講演を行った。講演では、パワーポイントを活用して呂運亨先生に関連する貴重な写真や文献内容が紹介され、その歴史的業績が熱を込めて語られた。

最後に李慈勲実行委員長が、司会を担当した鄭永寿氏とご遺族の呂寅誠氏、そして全ての参加者に感謝の言葉を述べて閉会した。

朝鮮学校の無償化除外は違法、

無償化の対象にするよう命じる

大阪「高校無償化」裁判判決及び報告集会



▲大阪地裁前で勝訴を伝える弁護士団

日本政府が高校授業料無償化制度から大阪朝鮮高級学校を適用外とする措置を不服とし、「大阪朝鮮学園」が無償化適用を求めた裁判の判決公判が7月28日(金)、大阪地方裁判所(大阪市北区)で開かれ、裁判所は「国の措置は無償化法の

趣旨を逸脱した違法であり無効」と判断、「国の処分を取り消し、無償化の対象にするよう命じる」判決を下し、学園側が勝訴した。

そして同日夕方、東成区民センター大ホール(大阪市東成区)で、朝鮮高級学校無償化を求める連絡会・大阪の主催による「大阪“高校無償化”裁判判決言い渡し報告集会」が開かれた。

報告集会では、弁護団の金英哲(キム・ヨン Chol)弁護士が判決報告を行った。金弁護士は初めに大きな声で「勝利しました」と叫び、会場から大きな拍手が送られ、続いて、今回の裁判勝利の意義などについて報告を行った。

次に、大阪朝鮮学園の声明文が朗読されるとともに、東京・広島をはじめ各地で無償化適用を訴えて闘っている方々、大阪朝鮮高級学校に通う生徒によるアピール、韓国の支援団体からの応援メッセージが映像で紹介された。

その後、弁護団が紹介され、最後に丹羽雅雄弁護団長が閉会挨拶を行い、報告集会は終了した。

〈次代を担う若者たち〉 —韓青大阪本部 活動紹介—

アンニョンハシムニカ、韓青大阪本部の李俊一(イ・チュニル)です。暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか?

韓青大阪本部ではこの間も精力的に活動してきました。7月4日には韓国の学生団体との交流を行いました。韓国で日本軍「慰安婦」問題のために活動している「平和ナビ」の学生たちとの交流会が在日同胞有志によって企画され、私たち韓青も参加してきました。学生たちの話を聞くと、昨年

から朴槿恵前大統領退陣まで続いたキャンドルデモに参加していた学生や、「平和の少女像」を守るために極寒の街頭でろう城闘争をしてきた学生もおり、「やはり国内の闘争の歴史は、今の若い世代にも脈々と受け継がれているんだ」と感動し、私たちも日本の地で頑張っていかなければと背筋が伸びる思いでした。

いよいよ夏も本番でサマーキャンプが迫ってきています。この間、新規生歓迎会(7/22)や関西地協バーベキュー大会(7/29)など、同胞青年が参加しやすい交流事業を展開しています。もしお知り合いなどの同胞青年が近くにいましたら、ぜひともご紹介して頂ければと思います。



▲バーベキュー大会での記念写真

【感想文】 韓統連生野支部 ウリ歴史学習会に参加して

中山 茂

韓統連生野支部では現在、歴史学習会を開催しており、毎回、会員・地域同胞・日本人の方々が参加しています。今回、学習会に参加しています中山茂さんから感想文を書いて頂きました。

韓統連生野支部の定例学習会、ウリ歴史学習会に参加して、もう数年になる。

7月9日「人物に見るウリ歴史学習会第4回 全泰壹(チョン・テイル) 烈士～労働者のために捧げた青春～」に参加した。

下層の労働者のために身を捧げ、最後には焼身決起した彼の一生、火のような生涯を講師の金昌範(キム・チャンボム)氏が熱情を込めて報告した。全泰壹烈士のオモニ(母)李小仙(イ・ソソ)氏が「全泰壹評伝」に書かれた「日本語版に寄せて」を読み上げる金昌範氏の前には涙があふれていた。

数年前、ウリ歴史学習会に誘われた。高句麗の朱蒙(チュモン)を扱った古代史の学習会だった。この頃、韓国時代劇のネット配信で朱蒙を見ていた時期で、不謹慎にも学習会への参加はテレビの韓国時代劇の影響が大きかった。

この韓国時代劇で隋や唐が100万の軍隊を率いて高句麗の遼東半島に攻め入り、5万の高句麗の軍民が撃退するという感動的なシーンを見たばかりで、古代朝鮮の歴史に関心を持った時期だった。巨大なアメリカが当時の中国のようである。こういう生きた歴史は日本の教育では教えてくれなかった。この時、古代朝鮮は中国の万里の頂上あたりまで追撃戦をやっている。朝鮮半島のはるか北方まで朝鮮の領土だった。中国のこの地域に朝鮮族が多く居住するのも歴史的な背景があることを初めて知った。

当然、韓国のテレビ時代劇は全て史実を描いていないことは知っている。しかし、ダイナミックな歴史を実感できる要素はある。後は正しい歴史観を身に着ける学習が必要なだけだ。ここで生野

支部の「ウリ歴史学習会」が生きてくる。テレビドラマ朱蒙の関心から参加した歴史学習会だったが、韓統連の歴史教科書を紹介され、本格的に朝鮮史の学習を始めて、少し歴史も身についてきた。

労働者でも歴史愛好者は多い。初期の頃、全港湾建設支部の泊氏を誘い参加した。彼は、明治維新など歴史に関心があり、朝鮮の歴史にも造詣が深かった。韓統連の学習会だが、日本人が複数で参加したのがよかった。一人では敷居が高かったように思う。こういういきさつがある「ウリ歴史学習会」だが、参加して本当によかった。

日曜日の午前中という、他ではない時間帯での設定も参加を可能にしている。在日同胞の自営業者は日曜日の午後、夕方はお店もあり、参加が難しのだろう。私も日曜日は会合なども多く、この時間帯での学習会が都合がよい。

また学習会の目玉の一つは、学習会後の懇親会である。今は亡き金昌秀(キム・チャンス)さんとの革命談義も魅力だった。生野支部の面々は論客ぞろいである。お互い時間の許す範囲でいろんなことを論議したのが、今の活動にも生かされている。歴史学習会は古代から近代、そして現代にきて、統一問題も論議することになる。朝鮮半島をめぐるアメリカ帝国主義との攻防、韓国内の情勢、朝鮮の核開発の問題も今後さらに論議されるだろう。理論と実践の統一、まさにこのことが実証されている「ウリ歴史学習会」である。次回も楽しみである。



▲7月9日に開かれた生野支部歴史学習会



【翻訳資料】

文在寅大統領も良心囚でした —良心囚釈放推進委共同委員長 朴ジン人権活動家—

韓国では現在、光復節（8月15日）を契機に投獄されている良心囚の釈放を求める運動が行われています。今号では韓国のインターネット新聞に掲載されました良心囚釈放運動の活動を行っている朴ジン共同委員長のインタビュー記事を紹介します。

「文在寅大統領も2度も収監された良心囚だったのではないですか」。

彼女の一言に頭をぶん殴られた。「自身の信念と生存権を主張したという理由だけで監獄に入れられるというのは、野蛮な社会である証拠です。問題は良心囚にあるのではなく、政治権力にあります」。

彼女は人権活動家だ。セウォル号惨事では遺族と共に闘い、朴槿恵前大統領の弾劾集会ではキャンドル集会の司会者として広場を守った。政権が交代してからは「良心囚38人の釈放」などの活動をしている。ソウル光化門広場で朴ジン茶山人権センター常任活動家に会った。

●李明博政権では

限りない絶望を経験

朴氏は過去の政権下で「限りない絶望を経験した」と語った。

「セウォル号惨事、韓日慰安婦合意、開城工業団地閉鎖など、過去の政権下では常識的に理解することが難しいことが起こりました。政府は公権力を利用して反対の声を上げる市民たちを弾圧しました。怒りと絶望感だけが積み重なっていきました」。

李明博政権の5年間、朴槿恵政権で4年間の歳月が流れた。国民の怒りは積み重なり、国政壟断事態が爆発した。国民は広場に出てきて市民団体が要求した「朴政権退陣」を共に叫んだ。

彼女は「活動家を続けてきて最も感動した瞬間だった」と当時を回想する。「活動家生活の8割は待つことというのが、どのような意味なのか実感しました。絶えず問題を提起して、待ち続けていたら世の中が変わったのです。政権の序盤では、およそあり得ないと思われた政権退陣要求が実現したではありませんか。この声に共感した一人一人が動いて政権を退陣させ、新しい政権を作った

のです」。

●困難ではあるが、勇気ある改革課題

キャンドル革命後、文在寅政権が出帆して新しい変化が相次いだ。公共非正規職ゼロ宣言、国定教科書廃止などキャンドル市民の要求が次々に実現されている。しかし、実現が遅れている問題もある。過去の政権下で収監された「良心囚釈放」問題だ。彼女はこの課題を指して「困難ではあるが、最も勇気ある改革」と述べた。

「良心囚の人々の経歴を見れば、労働者の生存権を主張して従北（北朝鮮に従う勢力）のレッテルを貼られ、内乱犯にされた被害者です。南北分断の状況の中、国家情報院と検察、保守政権が作りあげた従北という枠に閉じ込められた人々です。この良心囚問題を解決しなければ、私たちがいつか監獄に入れられ



▲インタビューを受ける朴ジン氏

るかもしれません」。

朴氏は良心囚釈放問題を社会的に公論化させることが重要だと語った。問題を議論して、共感を広げ実現していくことが活動の基本だと説明した。

この一環として市民団体は先月7日に「良心囚釈放推進委員会」を発足、良心囚38人の釈放を求める活動を始めた。

彼女は言う「ハン・サンギョン民主労総委員長も労働者の代表であり、李石基（イソッキ）議員たち内乱陰謀事件関連者も10万党員の支持を受けた政党の政治家でした。保守政権によって“暴徒”にされた労働者たちの名誉を回復し、政権が解散させた政党の党籍を持っていたことが欠格事由になってしまった数多くの市民の傷を治さなければなりません。キャンドル市民の支持を背負った新政権が、彼らの涙を拭わなければなりません。それこそが健康な社会であり、真の民主主義です」。

◆読書紹介◆

武器ビジネス

アンドルーファインスタイン著書
原書房・上下各2592円

本書はかつて南アフリカの国会議員だった著者が、10年以上にもわたる取材をもとに徹底的に調べあげた世界各国の武器輸出国や、武器商人たちによる武器ビジネスの実態に迫ったノンフィクション大作であり、欧米諸国や日本でベストセラーになりました。ジャーナリストの野村進氏は「週刊文春(2015年8月27日号)」の書評で、「これを超える作品はもう出ないのではないか」と述べました。

本書を読みながら世界各国の武器輸出国や武器商人による武器取引は、国家安全保障の名のもとに行われているが、実態は倫理感も法律も無視したトランプ流の言い方になると、欲望むき出しのカネ儲けファーストであると私は感じました。

著者は世界各国で軍部・産業界・議会(政界)が絡み合い、巨大な利権集団である「軍産複合体」が形成され、武器ビジネスが推進されていると本書で指摘しています。本書を読んでさらに悪質だなと感じたのは、敵対する両国に武器輸出を行い、さらなる利益を得ようとすることです。例を2つ出すと①敵対関係にあるイスラエルとサウ



ジアラビアの両国に、アメリカが戦闘機を輸出していること。②敵対関係にあるギリシャとトルコの両国に、ドイツが潜水艦を輸出していることです。

2011年にアメリカとNATOはリビアに対して軍事攻撃を行ったが、本書を読んで私が驚いたことは、リビア攻撃に参加したイギリス、フランス、イタリアは、攻撃する少し前まで積極的にリビアへの武器輸出を行っていた国だということです。

本書を読んで私が改めて感じたことは、武器輸出というのは軍拡競争や全面戦争や大量虐殺など数多くの悲劇をもたらすということです。本書の序文では「アメリカ、ロシア、イギリス、フランス、ドイツ、スウェーデン、オランダ、イタリア、イスラエル、中国は、つねに武器と軍需品の最大の製造国であり、輸出国であることが分かっている」と書かれています。

本書は本格的な武器輸出国を目指している韓国と日本に対する警世(けいせい:世間の人に警告すること)の書でもあります。李淳明

◆◆行事案内◆◆

<p>光復72周年 祖國の平和統一、南北関係発展のための 在日韓国人関西地域集会 日時：8月13日(日)午後2時～ 場所：尼崎中小企業センター (阪神尼崎駅下車徒歩5分) 参加費：500円 内容：民衆儀礼 情勢講演 講師：孫亨根韓統連中央本部議長 主催：韓統連関西協議会 TEL06-6711-6377</p>	<p>生野支部情勢学習会 切り開こう！朝鮮半島の平和と南北和解への道 日時：8月20日(日)午前11時～ 場所：韓統連生野支部 生野区勝山南4-1-13 資料代：会員300円・一般500円 連絡先：090-4561-8414(孫)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

編集後記

生野支部の学習会、私も参加しています。とても勉強になります。皆さんもぜひ参加ください。(ソン)